

Inspiration Camp in AOMORI 2022



第10回



未来ひらめき

創造塾

実施レポート

青森県企画政策部地域活力振興課

開催概要

(1) 目的

青森県内及び周辺地域の中学生を対象に、他の誰も考えないような奇抜な発想や直感を自らの内に探り・育てる体験を通して、無から新しいものを創り出すことの大切さや、創造力を発揮して未来を切り拓いていくことの楽しさを学ぶ。

(2) 参加者

青森県内及び周辺地域の中学生 38名（男子15名、女子23名）

(3) 開催日時

令和4年8月8日（月）～10日（水）

(4) 会場

青森県庁（青森市長島1-1-1）

青森公立大学（青森市合子沢山崎153-4）

三内丸山遺跡（青森市三内丸山305）

青森県総合社会教育センター（青森市荒川藤戸119-7）

青森県観光物産館アスパム（青森市安方1-1-40）

新青森県総合運動公園マエダアリーナ（青森市宮田高瀬22-2）

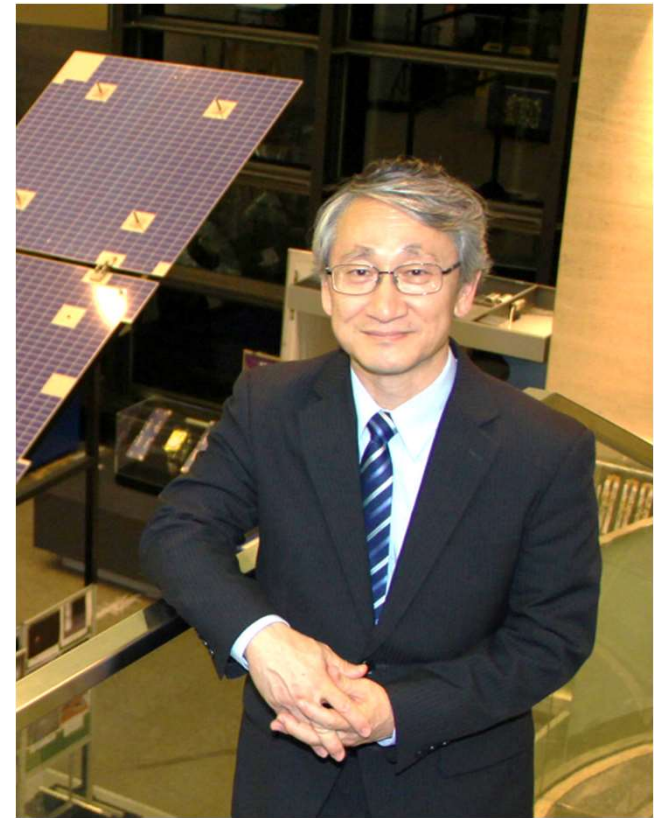
(5) 参加費

11,000円（宿泊費、食費、傷害保険、材料費等）

(6) 塾長

オーストラリア国立大学大学院教授・元宇宙航空研究開発機構(JAXA)

「はやぶさ」プロジェクトマネージャ 川口 淳一郎 氏



<プロフィール>

弘前市出身。宇宙工学者、工学博士。1978年、京都大学工学部卒業後、東京大学大学院工学系研究科航空学専攻博士課程を修了し、旧文部省宇宙科学研究所に助手として着任、2000年に教授に就任。2007年4月から2011年9月まで、月惑星探査プログラムグループプログラムディレクタ(JSPEC/JAXA)、1996年から2011年9月まで、「はやぶさ」プロジェクトマネージャを務めたほか、ハレー彗星探査機「さきがけ」、工学実験衛星「ひてん」、火星探査機「のぞみ」などのミッションに携わった。国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構宇宙科学研究所(ISAS/JAXA)宇宙飛行工学研究系教授、2011年8月よりシニアフェローを務め、2021年3月JAXA退官。現在はオーストラリア国立大学大学院教授。

全体カリキュラム

Inspiration Camp in Aomori 2022 (第10回未来ひらめき創造塾) カリキュラム (2泊3日)

		7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00		
1	8/8 (月)						プログラム	受付	開塾式 13:00-13:40	◎交流企画1 ウォーミングアップ 13:50-14:50	休憩	■チャレンジプロジェクト 1 <新しいゲームづくり> 15:00-16:50	休憩	◎交流企画2 川口塾長との交流 (オンライン配信有) 17:00~18:30	バス乗車・移動 18:30~19:00	チェックイン	夕食 19:20-20:00 【レストラン】	入浴 自由時間	消灯・就寝
		県庁西棟8階 (大会議室)												マエダアリーナ合宿所					
2	8/9 (火)	起床	朝食・掃除 【レストラン・各部屋】	バス移動 8:10~8:30	準備	◇塾生と講師のひらめき創造教室1 <国際コミュニケーション編: 「世界の平和と安全」> 9:00-12:00			昼食 12:00-12:30 【弁当】	消毒・会場復元作業 12:30~13:00	バス乗車・移動 13:00~13:30	■特別プログラム 縄文遺跡の魅力を知る (縄文人体験+講話) 13:30-16:30		バス乗車・移動 16:30~17:10	夕食 17:10-18:10 【レストラン】	入浴 自由時間		消灯・就寝	
		マエダアリーナ合宿所			青森公立大学 (交流ホール)					三内丸山遺跡		マエダアリーナ合宿所							
3	8/10 (水)	起床	朝食・掃除 【レストラン・各部屋】	バス移動 8:10~8:30	準備	◇塾生と講師のひらめき創造教室2 <理科編:災害時に生き抜く 知恵を磨こう> 9:00-12:00			昼食 12:00-12:30 【弁当】	バス乗車・移動 12:30~13:00	◇塾生と講師のひらめき創造教室3 <青函交流プロジェクト: マリンラーニング> 13:15-16:00		後片付け・準備	閉塾式 16:30-17:00					
		マエダアリーナ合宿所			青森県総合社会教育センター					青森県観光物産館アスパム									

開塾式（1日目：8月8日（月）13:00～13:40）

【出席者】

- ・塾生38名、塾生の保護者
- ・川口塾長（オンライン出席）
- ・三村知事
企画政策部次長
地域活力振興課長



【場所】

青森県庁西棟8階大会議室

【進行手順】

- 開会
- 塾生自己紹介
- 三村知事あいさつ
- 川口塾長あいさつ
- 記念写真撮影



交流企画 1

＜ウォーミングアップ＞（1日目：8月8日（月）13:50～14:50）

【趣旨】

自己紹介ダンスや謎解きゲーム等を通して、緊張をほぐしつつ塾生同士の交流を促し、以降の塾プログラムへの導入を円滑にする。

【場所】青森県庁西棟8階大会議室

【内容】

（1）自己紹介byダンスダンスメドレー♪（30分）

- ・自己紹介を兼ね、個人で考えた自己PRを表現するダンス（ジェスチャー）をグループ員に発表
- ・グループ員全員分のダンスをつなぎ合わせ全体発表

（2）謎解きゲーム～パスコードを解除せよ～（30分）

- ・ひらめき塾で使うiPadの6桁のパスコードを12枚のヒントメモを頼りに解明

【塾生の声】

- ◆ ウォーミングアップの時に、積極的に話しかけてくれた塾生がいて、とても気持ちが楽になりました。もしこれから私が初対面の人と話すときは、自分も相手も同じくらい緊張しているのだから、私に話しかけてくれた友達のように、自分から積極的に話しかけてみようと思いました。
- ◆ 初対面の人たちと活動するのは理解しあわないといけない、また、理解はお互いの意見を尊重しあうことが必要だと感じました。



<新しい“ゲーム”づくり> (1日目: 8月8日(月) 15:00~16:50)

【趣旨】

既存の遊び道具やスポーツ用具を使った新しいゲームを創造する。

【場所】 青森県庁西棟 8階大会議室

【条件】

- ① 今までにない新たなゲームを考える。
ゲームの定義: ルールに従い、障害をクリアしながら目的を達成する。
- ② 他者に危害を加えること、道具を破壊することは禁止。

【内容】

- ① シンキングタイム (25分)
- ② テストプレイタイム (15分)
- ③ ブラッシュアップタイム (15分)
- ④ テストプレイタイム2 (15分)
- ⑤ 仕上げタイム (10分)
- ⑥ 全体発表・評価・講評 (20分)

【評価項目】

- ① 楽しさ
- ② ルールのわかりやすさ
- ③ 独創性 (新しさ)

【塾生の声】

- ◆ 一からゲームを作るのが難しかったけど、グループの人たちと話し合っただけでゲームを作れて楽しかったし、それぞれのグループに個性があって面白かった。
- ◆ ビー玉転がしにカードゲームの要素を追加したとても単純なゲームを作ったが、思いのほか好評で、誰でも知っているゲームでも、組み合わせればより良いものになるものだと感じた。



交流企画 2

＜川口塾長講話＞（1日目：8月8日（月）17:00～18:30）

【趣旨】

川口塾長の講話を通して、塾生が当塾の趣旨を再確認するとともに、塾長との交流を図る。

【場所】青森県庁西棟8階大会議室

【内容】

- (1) 講話（70分）
- (2) 感想・質問タイム（20分）

【塾生の声】

- ◆ 「発明は組み合わせである、同じ場所にずっといてもひらめきは発生しない」という話に、すごく共感しました。
- ◆ 「ルールを破った後に何が起こるのかを考えてみる」という言葉から、その場の空気を読むばかりではなく、まだ誰もやったことのないようなこと、方向に力を入れて、批判を受けても気にせず、自分が思ったこと、考えたことをまず発言できる自分になりたいです。
- ◆ このお話を通して学んだことを自分に経験に寄せて考えます。とても有意義な講話でした。
- ◆ 印象に残った川口塾長のフレーズをメモした用紙は、私にとってとても大切なものとなりました。
- ◆ はやぶさの計画の責任者である川口先生から、開発側の意味や実態を生で聞けて、とても貴重な時間でした。



＜国際コミュニケーション編＞ (2日目：8月9日(火) 9:00～12:00)

【趣旨】

ゲームやディスカッション、様々な国の人との交流を通じて、外国語だけでなく異文化や多様性を理解するとともに、世界の平和と安全について考える。

【場所】 青森公立大学交流ホール

【講師等】

講師：市民による国際協力実行委員会	菊池 昌子 氏
(一社) 青森市国際交流協会	斎藤 誠子 氏
青森中央学院大学国際交流課	金川 利江子氏
	風晴 彩雅 氏

外国人ゲストティーチャー：9名
(アメリカ、イギリス、中国、韓国、台湾、ベトナム、マレーシア、タイ)

【内容】

- (1) アイスブレイク (見えるアンケート) (20分)
- (2) 外国人ゲストティーチャー紹介 (10分)
- (3) 異文化理解ゲーム Barnga (55分)
～休憩中 (パネルセッション)～
- (4) ディスカッション「世界の平和と安全」 (70分)

【塾生の声】

- ◆ 世界は一つでも、自分の国の当たり前は、他の国では当たり前ではないということを実感しました。このことは、国だけでなく、人間一人ひとりにも言えることだと思いました。
- ◆ 「平和」についての話し合いでは、自分以外の意見を聞くことによって考えが深まるということ学びました。また、SDGs関連の内容でもあり、以前から興味を持っていたので、楽しく学ぶことができました。



特別プログラム

<三内丸山遺跡見学> (2日目: 8月9日(火) 13:30~16:30)

【趣旨】

令和3年7月に北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産に登録されたことから、縄文文化に触れる機会を通じて魅力を再認識し、ふるさと青森を愛する心を育む。

【場所】 三内丸山遺跡

【講師・協力】

三内丸山遺跡センター 所長 岡田康博 氏
同センター職員

【内容】 ※雨天により屋外体験活動は中止

- (1) 講話「縄文、さんまる、世界遺産」(45分)
- (2) さんまるミュージアム見学(45分)
- (3) バックヤード見学(45分)
- (4) 意見交換「より多くのお客様を呼ぶためのアイデア」(30分)

【塾生の声】

- ◆ 今回縄文時代のことを色々勉強させていただき、人々の暮らしや食べ物、出土した遺物が何なのか、どういう意味を持って作られたものなのかなど、細かなところまで教えてもらって、今まで興味がなかった縄文文化に触れることができとても良かったです。
- ◆ 自分たちが今住んでいる青森県に、こんなに身近なところに縄文時代と触れ合えるところがあることを教えてもらった今、これからはもっともっと縄文文化に興味をもっていきたいと思います。



<理科編> (3日目: 8月10日(水) 9:00~12:00)

【趣旨】

大雨や地震などの自然災害が多発する昨今、災害時に生き抜く力を育むため、防災ワークショップを通じて、いざという時の対応について、理科学的な知識を習得するとともに、発想力や創造力を磨く。

【場所】 青森県総合社会教育センター

【講師】

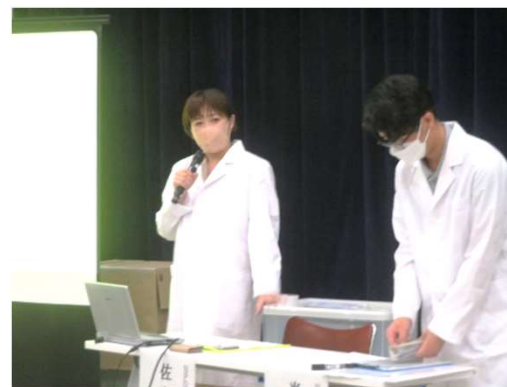
NPO法人プラス・アーツ 佐々木真琴 氏
光田 和悦 氏

【内容】 防災博士からの挑戦状 ※(1)雨天により室内実施

- (1) MISSION 1 効率的に水を運ぶ方法 (30分)
- (2) MISSION 2 冬場の避難所で温かく寝る方法 (55分)
- (3) MISSION 3 懐中電灯の明かりをより明るくする方法 (55分)
- (4) 講義「被災体験・防災豆知識」 (20分)
- (5) 塾長からの講評・MVP表彰 (10分)

【塾生の声】

- ◆ 災害時に何が大切なのかを体験学習を通して学ぶことができた。普段なかなか人と意見を交えながら何かを完成させるということがなく、何でも一人でやるので、みんなで一つの目標に向かって行動することの楽しさが分かった。



「青函交流プロジェクト」 (3日目: 8月10日(水) 13:15~16:00)

【趣旨】

ヨットはなぜ風上に向かって進むのか、なぜ沈まないのか、その仕組み等を考えることで創造力や発想力を育む。

【場所】 青森県観光物産館アスパム 4階 十和田

【講師】

水産・海洋コーディネーター 工藤 世一 氏

【内容】

- (1) 導入～趣旨解説・バーチャル航海～ (30分)
- (2) アクティブラーニング1～ヨットを走らせる! 風をつかめ! (45分)
- (3) アクティブラーニング2～ヨットの復元力～ (40分)
- (4) アクティブラーニング3～フラッグシップ～ (40分)
- (5) 振り返り・MVP表彰・塾長講評 (20分)

【塾生の声】

- ◆ 工藤世一先生の明るく、楽しく、わかりやすい話とグループ員との学びで青函の関わりを学びました。
- ◆ 「ひらめき」が特に重要なプログラムで、一番難しく、でも一番興味深い内容でした。旗で会話したり、旗のクイズを調節したりするのはかなり難しかったけど、おもわず熱中してしまうほどおもしろかったです。



閉塾式 (3日目: 8月10日(水) 16:30~17:00)

【出席者】

- ・ 塾生 38名
- ・ 塾生の保護者
- ・ 川口塾長 (オンライン参加)
- ・ 地域活力振興課長



【場所】

青森県観光物産館アスパム
4階 十和田



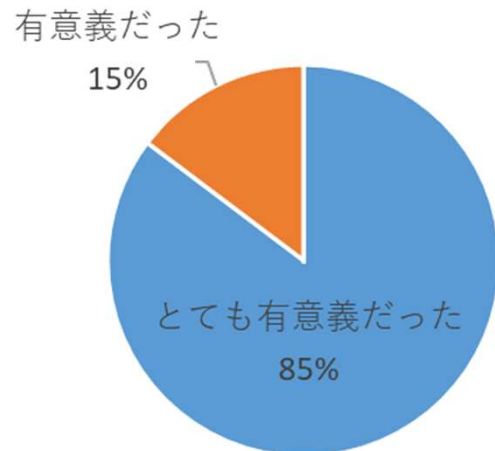
【進行手順】

開会
修了証交付
MVPアワードの贈呈
川口塾長あいさつ
記念写真撮影

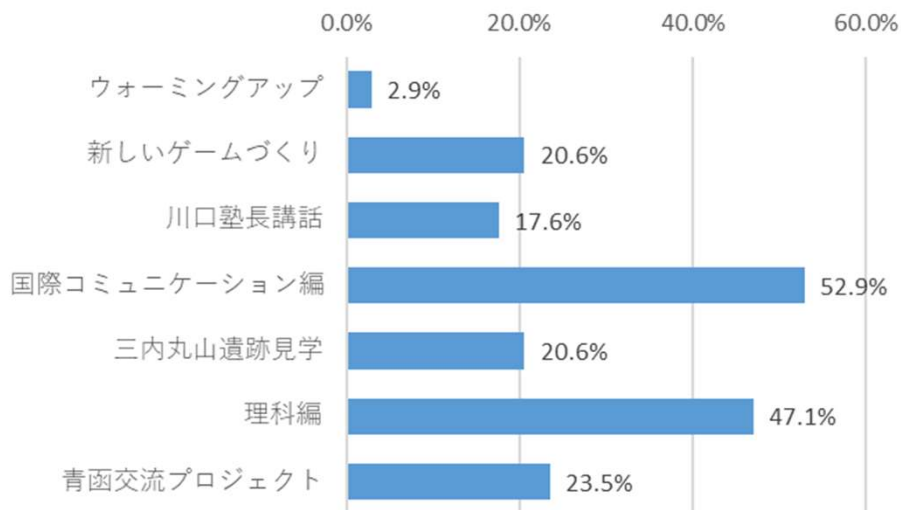


塾生の感想（事後アンケート及びレポートより）

問. 有意義な塾でしたか？



問. 特に印象に残ったプログラムは？（複数回答可）



- ◆ この塾をとおして、自分の考えや意見を持ち、グループの人と考えの共有をすることができるようになりました。また、どうしたら目的を合ったものを作れるのか、効率的にできるのかを、物を見て創造できるようになりました。
- ◆ 学校の授業で進んで意見の発表などをできるようになりました。自分で何かを考えるということは楽しいと思えるようになり、勉強などたくさんの方を楽しい、できると実感することができました。
- ◆ たくさんのジャンルのことを学べたので、いろんな視点で物事を見ることを忘れないようにしたいと感じました。また、コミュニケーション能力に少し自信を持てるようになったので、学校でも自分の意見を言えるようになりたいと思います。
- ◆ 物事に対する関心や意欲が高まり、自分の考え方も大きく変わったように思います。なので、今後は気になることはわかるまで調べて自分に有効な時間の使い方をしたいと思いました。
- ◆ ひらめきはゼロからつくり出すことだけでなく、既存を組み合わせでより良いものを生み出すことも含まれること、そしてコミュニケーション力が重要だという2点を改めて実感した。
- ◆ 柔軟に考えることや、自分の意見を人前で発表することが苦手でしたが紙にアイデアを書き出したり、他人と意見交換をしたりして、自分の考えが深く広がっていくことを感じると、考えることって面白いなと思いました。
- ◆ 色々な場面に遭遇した時に考えることの大切さ、そこからひらめいたことを実行に移す勇気といった、これから僕が歩む人生において大切なものをたくさん学んだように思います。

保護者の感想（事後アンケートより）

- ◆ 以前は人見知りでありあまり積極的でなかったのですが、この塾に参加したことがまず驚きでした。Facebookの様子やいろんな話を本人から聞いて貴重な経験をさせていただいたと感じています。今後も難しいことにチャレンジすることを息子に期待しています。
- ◆ 今回息子にとっては初めての大人数での生活や取組でした。その中でどのような経験をして、どのような事を感じて帰ってくるかととても楽しみでした。閉塾式の日、息子の顔を見た瞬間とても充実した時間を過ごした事が伝わりました。その表情はとてもやわらかくて、キラキラしていて、あたたかい瞳をしていました。きっとたくさんの方から優しさと思いやりをいただけたのだろうと確信しました。
- ◆ 学年の違う人、学校の違う人たちと2泊3日過ごす中でなるべく多くの人とコミュニケーションを取ることで本人にとってとても良い刺激になったようです。学校では習わない「ひらめき」を出し合って、話し合っ決めていく過程は新鮮だったと話していました。また、スタッフの方々が、子供たちが主体的に動けるようなお声がけや見守りをしていただき、無事に3日間過ごすことができたと思っております。
- ◆ いつもは少人数の学校生活で見慣れた顔ぶれ、気心の知れた者同氏での狭いコミュニティなので、初対面の子たちとどのように交流するのか？と思っていました。が、たくさんの友達・仲間と楽しく過ごしてきた様子に参加して良かったと思いました。ゆっくり地味にはありますが、行動に変化を感じるようになりました。塾での交流、体験が間違いなく成長させてくれました。
- ◆ 多感な中学時代にたくさんの人に会い、たくさんの可能性を感じる機会がコロナで失われていることに、親として危機感を感じていました。縮小されたプログラムだったとはいえ、内容の充実ぶりに子どもたちをうらやましく思います。思春期で難しい時期ですが、振り返った時、多くの学びがあったように思います。「ひらめきを行動に移す」ことが子の課題になったようです。自分を見つめる機会を与えてくださり本当に感謝です。
- ◆ 外国人とのコミュニケーションが楽しかったようで、文化の違いや相手の気持ちの尊重などについて考えられたようです。コロナ禍であり様々な制約がある中で完遂していただきありがとうございました。ノウハウを生かし今後の更なる飛躍を期待しております。
- ◆ この度は貴重な体験をさせていただきありがとうございました。普段マイペースでおっとりしている娘が「参加してみたい」と言ってくれた時は驚き誇らしさと共に心配もしましたが、塾に参加して成長した姿を見せてくれ感動しました。他の塾生さんに比べたら口数も少なくあまり自分から意見を発せなかったようですが、本人なりに「自分で考える」ことの大切さに気付けたと思います。参加させていただき本当にありがとうございました。